



まんだらげ

vol. **14**
2010.9

患者さまの権利

1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。

2 医療について十分な説明を受ける権利

ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります

3 自分が受ける医療を自ら決定する権利

納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。

4 医療について情報提供を受ける権利

自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。

5 個人情報やプライバシーが守られる権利

医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

(東塔)高野山

CONTENTS

- スペシャリスト紹介
- 病棟だより/11階東病棟
- くるーずあっぷ/がん患者教室開催
- 院内とびっくす/最新血管装置稼働
- 栄養フンポイントアドバイス/鮭は赤身魚?白身魚?
- お薬の豆知識/薬の形「錠剤」

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

理念

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。



医療のあらゆる現場で活躍する 熟練看護師さん

【看護部門】

和歌山県立医科大学附属病院看護部は看護要員約670名を擁する大所帯です。そのなかから専門的な教育研修を受けリソースナースとして活躍している専門看護師・認定看護師の一部を紹介します。



がん看護専門看護師
山田 忍

がん患者さんの出会いをきっかけに患者さんと向き合い、その人の生きる力を支えたいと思いました。そのため専門的な知識を身につけるため、キャリアアップをめざしました。現在、化学療法中の患者さんのセルフケアにあたっています。



新生児集中ケア認定看護師
向井 君子

新生児集中ケアの教育課程で学んだ知識や技術を、スタッフたちとディスカッションしながら医療の現場で役立てたいと考えています。新生児とその家族にとってよりよい看護をめざしていきたいです。



救急看護認定看護師
高野 裕子

突発的な急病のケアをいかに素早く判断し、実践できるか。それが救急看護のやりがいです。救急医療看護の知識や技術は日々進化しています。幅広い情報を現場のスタッフと共有しながら、救急看護の質の向上に取り組みます。



小児救急看護認定看護師
塩路 清美

救急と小児科に長く携わってきました。小児救急では相手が子どもであるため、その見極めには高度な知識と判断が必要です。現状に満足せず、常に向上心を持って、患者さんや家族が安心して治療を受けられるよう支援したいと思っています。



救急看護認定看護師
岩井 真弓

集中治療室やドクターヘリなど救急処置の場面で、患者さんの看護をしています。あらゆる疾病や外傷に対して、一刻も早く確実な手当が必要とされるので気が抜けません。また患者さんやそのご家族に対する精神的ケアにも気を配れるよう心掛けています。

病棟だより

患者さんと家族の心に寄り添い、 早期回復を支援

11階東病棟は、消化器内科と神経内科の病棟で全50床。明るくて元気な看護スタッフ24名が、医師と連携し、一丸となって患者さんと家族のみなさんの気持ちに寄り合い、早期回復の支援をします。

患者さんの。治療計画が円滑に進むよう、困難なこととは全員で共有し、互いに助け合い協力しながら、チ

ームの力で乗り切るように取り組んでいます。

また、一人ひとりの患者さんのペースに合わせて、日常生活に復帰できるよう日々努力しています。患者さんが元気に退院されることがチームの励みです。



ぐるーずあっが

「がん患者教室」開催

がん患者さんとご家族がよりよい療養生活を送っていただくために「がん患者教室」を開催します。

場所は和歌山県立医科大学附属病院2階相談室1（スターバックス西側、看護相談室隣）。対象は当病院に外来通院、または入院中のがん患者さんとそのご家族です。内容は右表参照。

【問い合わせ】

和歌山県立医科大学附属病院 がん相談支援センター
TEL073-441-0778

月 日	内 容	担当者
9/3(金) 12/3(金) 午後2時～3時	がんの痛みと緩和ケアについて	腫瘍センター 栗山 俊之
12/6(月) 午後2時～3時	がんの痛みと緩和ケアについて	看護部 石徹白 しのぶ
9/10(金) 12/10(金) 午後2時～3時	痛みを和らげる薬について	薬剤部 西川 浩子
9/17(金) 12/17(金) 午後2時～3時	がん患者さんを支える家族の対応について	看護部 温井 由美
9/27(月) 12/13(月) 午後2時～3時	気持ちのつらさの対応について	神経精神科 上山 栄子
10/1(金) 1/7(金) 午後2時～3時	療養を支える資源と制度について	地域連携室 濱路 祐子

院内とびっくす

がんや救急の動脈出血の カテーテル治療に貢献 国内2台目の最新血管装置稼動

中央放射線部の血管撮影室に、今年5月、最新血管装置「IVR-CT装置」が導入されました。国内導入は2台目という同装置は、今まで画像で確認することが難しかった血管がきれいに描写されるので、がんや動脈瘤などの血管病変の診断や治療に大いに貢献しています。西奥忠純技師長に、IVR-CT装置について話を聞きました。

「今まで平面で見ることしかできなかった病変が、IVR-CT装置なら立体画像で観察できるようになりました。今回導入したIVR-CT装置なら1回転で64枚の画像を撮ることができます。その64枚の画像を重ねた立体画像で病変を観察することで、より確実な診断や治療が可能になります。

医師はIVR-CT装置の画像を見ながら、細くなった血管を広げたり、がんを養っている血管や出血している血管を閉塞するカテーテル治療を行ったりします。

カテーテル治療なら開腹する必要がないため、手術時間が外科手術より比較的短く、患者さんの負担も少なくなります。カテーテル治療は体に優しい治療方法で、病変そのものに薬を直接注入したり、消化管出血を緊急で止血したりすることができます」



中央放射線部の血管撮影室にある「IVR-CT装置」。エックス線画像を使用しながら、治療が行われます



血管撮影室のスタッフ。
左から細川放射線技師、
西奥技師長、辻本看護師



栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

鮭は赤身魚?白身魚?

秋鮭のおいしい季節となりました。赤身魚と思われがちですが、実は白身魚に分類されます。鮭の赤い色は「アスタキサンチン」という色素成分で、強い抗酸化作用があり動脈硬化の予防に効果があるといわれています。他にも血液をさらさらにするEPAや脳の働きを活性化するDHAも豊富です。今回はそんな鮭の栄養をとじ込めた簡単ホイル焼きをご紹介します。



○作り方

アルミホイルに塩コショウをふった生鮭と具、バターのをせ、混ぜ合わせた調味料をかけて包み、フライパンにのせ蓋をして中火で10分蒸し焼きにする。レモンを添えてもよい。

○材料(一人分)

秋鮭(生)・・・80g(1切)、塩・・・0.4g、コショウ・・・少々
しめじ・・・25g、エノキ・・・25g、白ネギ・・・20g
バター・・・5g、みそ・・・9g(大さじ1/2)、酒・・・2.5g(小さじ1/2)
みりん・・・3g(小さじ1/2)

エネルギー187kcal たんぱく質20.5g 脂質8.1g
炭水化物8.1g 塩分1.8g

お薬の豆知識



シリーズ⑭ 「錠剤」

～薬剤部から～

「錠剤」には、糖分で薬をコーティングして苦い薬を飲みやすくした「糖衣錠」や効き目が長持ちする「徐放剤」、胃酸で分解されずに腸で溶けるように工夫した「腸溶剤」等があり、錠剤を砕いてしまうとこのような特性が失われてしまうので注意しましょう。いずれも食道の粘膜に引っかからないように、コップ1杯程度の水で飲むのがよいでしょう。ほかに舌の下で溶ける「舌下錠」や水なしでも飲める「口腔内崩壊錠」などがあり、患者さんに応じて処方されます。

◎乳がん最新治療講演会

- 10月3日(日)14:00～16:00
- 和歌山ビッグ愛1階大ホール

◎がん補完代替医療講演会

- 10月31日(日)13:30～15:00
- 公立大学法人和歌山県立医科大学
- 高度医療人育成センター5階研修室

【お問い合わせ先】

経理課 企画経営班 073-441-0516

お知らせ

平成22年度 生涯研修・地域医療支援センター研修会 「最新の医療カンファランス」

テーマ/高齢社会を生き抜くための生活の工夫
場所/和歌山県立医科大学

高度医療人育成センター5階大研修室

日時/第2木曜、午後3時～午後5時

受講料/無料 定員/100名

■9月9日(木)第4回

「最新の口腔がんの治療法」

講師/医大・歯科口腔外科学教室 藤田 茂之

「舌がんが増えている～がんになる前の口のなか～」

講師/医大・歯科口腔外科学教室 和田 健

■10月14日(木)第5回

「脳卒中とは」

講師/医大・脳神経外科学教室 松本 博之

「脳卒中にならないために」

講師/医大・脳神経外科学教室 増尾 修

■11月11日(木)第6回

「うつ病の最近の話題ー脳科学の知見を含めてー」

講師/医大・神経精神医学教室 鶴飼 聡

辻 富基美

問・TEL073-441-0789

和歌山県立医科大学 生涯研修・地域医療支援センター

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.14〉

2010年6月発行

発行/和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

電話予約センター

受付時間 月～金 午前8:30～午後4:00

【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変ごみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は
12月です。